



がんばってます Vol.51

臨床研修制度と研修医

臨床研修プログラム
責任者

中村 浩志 医師



日々頑張っている仲間たちの姿を通して友愛記念病院を紹介するこのコーナー。

第51回の今回は、研修医にスポットを当てました。

Q 研修医とは、どういう医師ですか？

A 医師免許を取得した後、厚生労働省が指定した病院で2年間の臨床研修(初期研修)を受けている医師のことです。研修医は、内科や外科などの各診療科を回り、実際に患者さんと接しながら、一人前の医師になるために必要な知識と技能を身につけます。当院では毎年6名の初期研修医を受け入れており、独自の臨床研修プログラムにそって各科で研修を行っています。

Q 友愛記念病院の臨床研修の特徴は？

A 現場で研修医を導くのは、指導医資格を取得した指導医と先輩医師である上級医です。当院では、この上級医と研修医が1対1になるように調整しています。また、指導医の監督下で、患者さんへの処置なども積極的に研修医に行わせるようにしています。併せて、研修医に向けたミニレクチャーも随時実施して、研修プログラムを充実

させています。今年からは、石垣島の提携病院での1ヵ月間の研修も始まりました。

(詳しくは本誌トピックスをご参照ください)

Q 当院での研修希望者が 増えているそうですね？

A はい。近年増加傾向にあり、6名の枠に対して今年度の希望者数は24名に達しました。臨床研修プログラムの内容が評価された結果と、喜んで

います。

各科の指導医のもと、実技を重視したプログラムを実践しています。

